



▲(写真左から)平成21年卒の古賀さん、濱崎さん、そして平成22年卒の堀江さん。3人とも短期大学部現代教養学科を卒業。「アットホームな雰囲気の中で安心して仕事に向かっています」と口をそろえる。

# 就職の筑女

OGと上司に伺う「筑女生のこと」

久留米市農業協同組合  
(JAくるめ)

VOL.  
21

北部支店金融共済課 福祉課 東部営農センター  
古賀 彩さん 濱崎 真実さん 堀江 裕子さん の巻

本学卒業生をご採用いただいている企業へ伺うこのコーナー。今回は、「こころ ふれ愛 With You」をキャッチフレーズに、様々な事業を展開する「久留米市農業協同組合」で活躍中のOG、古賀彩さん、濱崎真実さん、堀江裕子さん、そして上司の原泰博さんにお話を伺いました。

## 筑女のサポートに支えられ 地元で働くという夢が現実に

お客様の笑顔とご満足が  
日々の原動力に

職場でも繋がっていく  
筑女OGの絆

組合員をはじめ、地域住民の方々とともに、農業と久留米市の発展に資する様々な事業を展開するJAくるめでは、仕事の内容も多種多彩です。「地元で働きたい」という想いは同じだったものの、現在、古賀さんは貯金の窓口を担当し、堀江さんは肥料や農薬を取り扱う窓口。濱崎さんはデイサービスを利用する方々のお世話をする毎日を送っています。

「福祉課に配属された当初は戸惑いましたが、『やるしかない!』と覚悟を決め、ヘルパー2級の資格も取りました。『あなたの笑顔が見られて嬉しい』と言ってくださる利用者の方々のお役に立ちたくて、さらに勉強を重ねています」と濱崎さん。古賀さんは、「おすすすめした商品にご満足いただき、貯金をしてくださったお客様から、逆にお礼を言われたりすることも。やりがいを感じます」と話してくれました。堀江さんも、「私の部署は農家の方のご利用が多く、皆さんが私の名前を覚えて親しく接してくださるんですよ」と嬉しそうに顔をほころばせます。

実は、JAくるめでは、現在12人もの筑女OGが働いています。「先輩が大勢いらつしやると知り、採用試験を受ける際も心強く感じました。今では後輩もいて、よく筑女の話が話題になるんですよ」と古賀さん。また、就職活動については、「電話応対やビジネスマナーの講座などを受けましたが、もっと筑女のセミナーや研修を利用すればよかった。在学生にそのことを伝えたい」とも。濱崎さんと堀江さんは、「進路支援課の方に模擬面接を何度もお願いしたおかげで、本番では落ち着いて話すことができました。『礼儀や人との接し方など、社会人にとって大切なことを在学中に学ぶことができました』と当時を振り返ります。

そんな3人に後輩へのメッセージをとお願いますと、「視野を広げることが大事。そうすれば新たな発見があるはず」「多くの人と接する機会を持つて、繋がりを広げてほしい」「自分をしっかり見つけて」という答えが返ってきました。後輩を応援する熱い想いは卒業後何年経っても変わらないようです。

上司の方に伺いました

## 筑女出身者は笑顔が明るく素直。 JAくるめの大切な戦力です

総務企画部総務課 原泰博さん

安全・安心をお届けし  
生産者と消費者を  
心で繋ぐ架け橋に



▲「やさしいひと声も安全・安心に繋がる大事なサービス」と語る原さん。

JAくるめは、平成20年5月に支所再編を行い、新たなスタートを切りました。具体的には、管内を東西南北の4地区に再編したうえで、4力所の総合支店と1力所の金融支店に再編。支所の機能・職員を集中させて自己完結の大規模な支店を構築することにより、利用者サービスの向上と事業管理費の削減を目指しています。

また、農業従事者の高齢化や後継者不足を背景に正組合員はもとより、准組合員を増やすことも課題となってきました。そこで、JAくるめのファンづくりを図る施策の一環として、イベントの開催や地域イベントへの協賛など積極的に取り組んでいます。

こうした中、女性職員への期待がさらに膨らむようになってきました。組織再編に伴い、涉外担当者がお客様の自宅へ、より出向く体制になったのですが、女性ならではのきめ細やかで丁寧な涉外対応が大変好評なのです。また、窓口セールスでも女性職員がおおいに活躍。組合員さんで組織する女性部の活動にも、生活指導員の女性のサポートが欠かせません。今後も女性職員が活躍する場は広がることでしょう。その一翼を担ってくれているのが12名の筑女OGです。

### 今回の職場

- 組合名: 久留米市農業協同組合 (JAくるめ)
- 組合員数: 11,727人 (正会員5,329人・准会員6,398人)
- 出資金: 13億7,894万3,000円 (平成22年度末)
- 職員数: 422人 (平成23年3月31日現在)
- 平成23年度新卒者採用実績: 6名



校風が育むのでしょうか、筑女OGは、みんな笑顔が明るく、組合員さんや利用者の方々にとても親しまれているようです。しかも素直。JAの仕事は多岐に渡るのですが、誰もが配属先で懸命に業務へ取り組んでくれています。後輩の皆さんも、ぜひ後に続いてください。

JAの基本はやはり農業。生産者の方々の生活を豊かにし、消費者には安全・安心な食とサービスをお届けすることが使命です。職員は農業や食料問題への理解を基に、両者の架け橋にならなければなりません。こうした仕事に意欲のある人材を、JAくるめは求めています。